



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 日産車体株式会社
 コード番号 7222 URL <https://www.nissan-shatai.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 吉村 東彦
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部部长 (氏名) 中津川 隆則 TEL 0463-21-8001
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 2022年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	130,945	13.7	△1,040	—	△633	—	△544	—
2022年3月期第2四半期	115,151	—	△544	—	△339	—	△211	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 △636百万円(—%) 2022年3月期第2四半期 △280百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	△4.02	—
2022年3月期第2四半期	△1.56	—

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。2022年3月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、当該会計基準等の適用により大きな影響の生じる売上高は、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	234,378	170,673	72.8	1,260.02
2022年3月期	231,233	172,190	74.5	1,271.22

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 170,673百万円 2022年3月期 172,190百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	6.50	—	6.50	13.00
2023年3月期	—	6.50	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	6.50	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	314,300	45.9	9,500	—	9,900	—	6,400	—	47.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	157,239,691株	2022年3月期	157,239,691株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	21,786,755株	2022年3月期	21,786,755株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	135,452,936株	2022年3月期2Q	135,453,016株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローに関する説明	2
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
3. その他	7
連結製品別売上高	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、経済社会活動の正常化が進む中、景気を持ち直しの動きが見られましたが、物価上昇や急激な為替市場の変動等の影響に十分注意が必要な状況にありました。当社グループを取り巻く環境は、半導体不足に起因する一部の部品供給問題の影響や材料及びエネルギー価格の値上げ影響等により、厳しい状況が続きました。

このような環境において、当社が日産自動車株式会社から受注しております自動車の売上台数は、乗用車の台数は増加したものの、部品供給問題により主に商用車が減少したことで、前年同期と比べ1.5%減少の60,491台となりました。売上高は、前年同期と比べると「AD」や「NV200バネット」等の商用車の台数減少の影響を大きく受けた一方で、「パトロール」や「インフィニティQX80」等の乗用車の売上が伸びた結果、157億円増加の1,309億円となりました。損益面では、営業損益は材料の値上げ影響等により4億円悪化の10億円の損失、経常損益は2億円悪化の6億円の損失、親会社株主に帰属する四半期純損益は3億円悪化の5億円の損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比べ23億円増加の1,130億円となりました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産の増加53億円、預け金の減少28億円によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末と比べ7億円増加の1,213億円となりました。

この結果、資産合計は前連結会計年度末と比べ31億円増加の2,343億円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比べ48億円増加の596億円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加19億円、その他流動負債のうち電子記録債務の増加45億円、未払費用の減少9億円によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末と比べ1億円減少の40億円となりました。これは主に、その他固定負債のうちリース債務の減少2億円によるものです。

この結果、負債合計は前連結会計年度末と比べ46億円増加の637億円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ15億円減少の1,706億円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上による減少5億円、剰余金の配当による利益剰余金の減少8億円によるものです。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は500億円となり、前第2四半期連結会計期間末に比べ97億円（前第2四半期連結会計期間末比16.3%）減少いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、34億円（前第2四半期連結累計期間に得られた資金は90億円）となりました。これは主に、減価償却費38億円、売上債権及び契約資産の増加による減少53億円、仕入債務の増加による増加65億円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、35億円（前第2四半期連結累計期間に使用した資金は721億円）となりました。これは主に、固定資産の取得による支出38億円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、27億円（前第2四半期連結累計期間に使用した資金は29億円）となりました。これは、リース債務の返済による支出18億円、配当金の支払額8億円によるものです。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2022年5月12日公表の業績予想を変更していません。

なお、今後の動向により業績に影響を及ぼす場合には、開示基準に従って速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	405	377
受取手形、売掛金及び契約資産	51,409	56,713
仕掛品	867	1,057
原材料及び貯蔵品	3,316	3,921
預け金	52,463	49,647
その他	2,242	1,345
流動資産合計	110,705	113,063
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,586	10,511
機械装置及び運搬具(純額)	12,334	12,134
工具、器具及び備品(純額)	5,736	5,069
土地	14,228	14,228
建設仮勘定	2,763	2,843
有形固定資産合計	45,651	44,786
無形固定資産	848	1,878
投資その他の資産		
長期貸付金	70,094	70,011
その他	3,934	4,638
投資その他の資産合計	74,028	74,649
固定資産合計	120,527	121,314
資産合計	231,233	234,378
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,104	33,087
未払法人税等	126	555
製品保証引当金	198	188
その他	23,380	25,840
流動負債合計	54,810	59,671
固定負債		
製品保証引当金	185	222
退職給付に係る負債	1,289	1,282
その他	2,757	2,529
固定負債合計	4,232	4,033
負債合計	59,042	63,705
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,904	7,904
資本剰余金	8,517	8,517
利益剰余金	173,517	172,092
自己株式	△22,635	△22,635
株主資本合計	167,303	165,879
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	4,886	4,794
その他の包括利益累計額合計	4,886	4,794
純資産合計	172,190	170,673
負債純資産合計	231,233	234,378

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	115,151	130,945
売上原価	112,183	128,560
売上総利益	2,968	2,384
販売費及び一般管理費	3,512	3,425
営業損失(△)	△544	△1,040
営業外収益		
受取利息	155	177
固定資産賃貸料	105	106
雇用調整助成金	—	187
その他	43	46
営業外収益合計	304	517
営業外費用		
支払利息	25	28
固定資産賃貸費用	62	70
その他	11	11
営業外費用合計	99	111
経常損失(△)	△339	△633
特別利益		
固定資産売却益	1	1
特別利益合計	1	1
特別損失		
固定資産売却損	40	—
固定資産除却損	75	228
特別損失合計	115	228
税金等調整前四半期純損失(△)	△453	△861
法人税等	△242	△317
四半期純損失(△)	△211	△544
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△211	△544

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純損失(△)	△211	△544
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	△68	△92
その他の包括利益合計	△68	△92
四半期包括利益	△280	△636
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△280	△636

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△453	△861
減価償却費	4,011	3,828
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△329	△7
受取利息及び受取配当金	△158	△180
支払利息	25	28
雇用調整助成金収入	—	△187
固定資産売却損益(△は益)	38	△1
固定資産除却損	75	228
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	36,533	△5,304
棚卸資産の増減額(△は増加)	1,510	△794
仕入債務の増減額(△は減少)	△31,321	6,512
その他	△1,509	△409
小計	8,423	2,852
利息及び配当金の受取額	142	165
利息の支払額	△25	△28
雇用調整助成金の受取額	—	187
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	475	271
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,015	3,448
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△2,137	△3,887
固定資産の売却による収入	11	8
長期貸付けによる支出	△70,000	—
貸付金の回収による収入	0	447
有形固定資産の除却による支出	△15	△161
その他	9	13
投資活動によるキャッシュ・フロー	△72,131	△3,578
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△880	△880
自己株式の取得による支出	△0	—
リース債務の返済による支出	△2,032	△1,832
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,912	△2,712
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△66,029	△2,843
現金及び現金同等物の期首残高	125,778	52,869
現金及び現金同等物の四半期末残高	59,749	50,025

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、見積実効税率を使用できない場合には、法定実効税率を使用しております。

3. その他

連結製品別売上高

区分	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)		増減	
	台数	金額	台数	金額	台数	金額
	台	百万円	台	百万円	台	百万円
乗用車	32,359	77,777	38,132	96,728	5,773	18,951
商用車	25,651	24,231	17,810	20,130	△7,841	△4,101
小型バス	3,432	4,314	4,549	5,664	1,117	1,349
部品売上・その他	—	8,828	—	8,422	—	△405
合計	61,442	115,151	60,491	130,945	△951	15,793

2022年度 第2四半期決算 参考資料

2022年11月9日
日産車体株式会社

連結

(単位：億円)

	当第2四半期実績 (累計) 2023年3月期	前第2四半期実績 (累計) 2022年3月期	前年度実績 2022年3月期
売上高	1,309.4 (13.7%)	1,151.5 (－)	2,153.5 (－)
営業利益	▲10.4 (－)	▲5.4 (－)	▲35.3 (－)
経常利益	▲6.3 (－)	▲3.3 (－)	▲25.4 (－)
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲5.4 (－)	▲2.1 (－)	▲22.1 (－)
増減要因 (営業利益)	(変動要因) 億円		
	台数・構成差 2		
	材料市況ほか ▲6		
	計 ▲4		
配当金 (円/株)	中間 6.5円	中間 6.5円	中間 6.5円/年間 13円
設備投資	40	36	80
減価償却費	38	40	79
ネットキャッシュ	500	597	528
売上台数	千台	千台	千台
乗用車	38 (17.8%)	32 (97.2%)	57 (▲6.5%)
商用車	18 (▲30.6%)	26 (▲13.3%)	49 (▲25.1%)
小型バス	4 (32.5%)	3 (▲17.0%)	7 (▲3.0%)
計	60 (▲1.5%)	61 (22.5%)	113 (▲15.4%)

* ()内は対前年同期増減率

* 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前連結会計年度の期首から適用しており、2022年3月期は当該会計基準等を適用した後の数値となっております。なお、当該会計基準等の適用により大きな影響の生じる売上高は、対前年同期増減率は記載しておりません。